

福島第一原子力発電所 一時保管エリアに保管している コンテナの外観目視点検の進捗状況について（続報）

< 参 考 資 料 >
2021年7月21日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 一時保管エリアW2において、廃棄物を保管しているコンテナ（1基）の底部に溜まっていた水が漏えいしたことを踏まえ、速やかに以下の点検・確認を行うこととしております。
 - ① バウンダリ機能が必要（※1）なコンテナ（5,338基※2）の外観目視点検
 - ② 内容物が把握できていないコンテナ（4,011基※2）の内容物確認

（7月1日お知らせ済み）
- コンテナの外観目視点検については、7月中の点検完了に向けて、概ね順調に点検作業が進捗しており、7月20日時点で、点検対象のコンテナ5,338基中、4,731基の確認が完了しております。
- 一方、一時保管エリアP2においては、点検作業を進める中で、エリアの一部に狭隘な場所が確認されております。当該の狭隘な場所については、現在使用している重機の進入が困難であることから、重機を変更する必要があります。また、重機変更に伴い、安全確保の観点から、作業場所を新たに設定し直す必要があることから、当該の狭隘な場所に設置されているコンテナ（24基）の外観目視点検については、完了時期が8月上旬までになる見通しです。
- なお、内容物が把握できていないコンテナの内容物確認を8月より、順次開始していく予定です。

※1：シート養生やコンテナ収納が必要となる、表面線量率が0.1mSv/h以上（ガンマ）、または0.01mSv/h以上（ベータ）のガレキ類

※2：5,338基と4,011基のうち3,426基は同じコンテナであり、①②の対象コンテナ総数は5,923基となる

【参考】コンテナ外観目視点検の進捗状況（7月20日時点）

- ✓ 点検が完了している4,731基のコンテナのうち、619基のコンテナにおいて、著しい腐食やへこみを確認。当該コンテナについては、全数速やかに養生テープによる補修を実施。
- ✓ また、6月1日にお知らせしたコンテナ1基からの漏えいを除き、水の漏えいがないことを目視確認およびコンテナ外表面の線量当量率測定により確認。

点検エリア	点検対象総基数	点検完了基数		点検未完了基数
			腐食等確認基数 ※すべて補修済	
E 1	1,598	1,438	387	160
E 2	428	428	19	0
F 1	99	99	28	0
P 2	361	264	3	97
X	1,363	1,194	119	169
W	1,489	1,308	63	181
合計	5,338	4,731	619	607